

令和 4 年 11 月の解説（週間天気予報）

【11 月の天候状況】

上旬は、北日本、東日本、西日本では、旬のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨となった所がありましたが、西日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、西日本日本海側では降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなりました。沖縄・奄美では、前線や高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多く、旬のはじめと終わりは大雨となった所があったため、降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なくなりました。気温は、旬のはじめと終わりは暖かい空気に覆われて平年を上回りましたが、旬の中頃は寒気が流れ込み平年を下回りました。

中旬は、北日本、東日本、西日本では、天気は短い周期で変わりましたが、本州付近は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間は北・西日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、降水量は東・西日本日本海側で少なくなりました。沖縄・奄美では、旬のはじめと中頃に前線や高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響で大雨となった所があったため、降水量はかなり多くなりました。寒気の影響が弱かったため、平均気温は全国的に高く、沖縄・奄美ではかなり高くなりました。

下旬は、北日本から西日本にかけての太平洋側と沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響をたびたび受けたため、天気は短い周期で変わりました。東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では、旬のはじめと終わりを中心にまとまった雨となったため、降水量はかなり多くなりました。一方、寒気の影響が弱く、曇りや雨の日が少なかった北・東・西日本日本海側の日照時間は多くなりました。寒気の影響が弱く、低気圧の前面で南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、平均気温は全国的にかなり高く、平均気温平年差は、北日本で+3.4℃、東日本で+3.7℃、西日本で+3.5℃、沖縄・奄美で+2.1℃となり、統計開始以降、11月下旬として北日本では1位タイ、東日本、西日本と沖縄・奄美では1位の高温となりました。

【11 月の検証結果】

「降水の有無」の全国平均の適中率(3～7日目平均)は、例年値(注)よりも8ポイント高い82%でした。地方別の適中率では、すべての地方で例年値を上回りました。最高気温の予報誤差(2～7日目平均)は、全国平均で例年値よりも0.5℃小さい1.6℃で、すべての地方で例年値よりも小さくなりました。また、最低気温の予報誤差(2～7日目平均)は、全国平均で例年値よりも0.3℃小さい1.7℃で、すべての地方で例年値よりも小さくなりました。

(注) 例年値は気象庁HP(予報精度検証)内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【1 月の週間天気予報の利用にあたって】

1月後半から2月前半にかけては、1年の内で最も気温が低くなる時期です。冬型の気圧配置となって強い寒気が日本付近まで南下してくると、平野部でも気温が氷点下になることがあります。また、冬型の気圧配置が緩んでくると、よく晴れて放射冷却現象によって気温がさらに下がることもあり、低温による凍結などの被害が起こることがあります。週間天気予報で気温の低い予想が続く場合は、低温に対する早めの対策を取るほか、最新の気象情

報にも留意して下さい。